

# 野党と市民との共同進める党を大きく

## 京都・西地区 田村副委員長迎え 95 周年講演会

京都西地区は5日、田村智子副委員長・参院議員を迎えて党創立95周年講演会を開き、会場いっぱいの人たちが参加しました。田村さんは日本共産党を①情勢を自らの力で切り開く党②市民・野党との共同を誠実に貫く党③憲法を生かす党④国民の理性と知性に信頼を寄せる党と紹介。それぞれについて自らの経験を重ねてリアルに語りました。

田村さんは、野党と市民の共闘について、出発点となった原発再稼働反対の国会前行動以来の経験を紹介。「内と外からの分断攻撃が予想されるが、党は誠実に共同をすすめる。民進党代表選挙の結果がどうであろうと、共闘は必ず発展する」とキッパリ語りました。講演会には自由党、新社会党からメッセージが寄せられました。



## 大阪全小選挙区で勝利を 野党統一候補めざし市民つどい

「野党統一候補の実現をめざす市民のつどい@おおさか」が4日、大阪市で開かれました。今こそ「市民のちから」を結集し、大阪全小選挙区19区で野党統一候補を実現し、勝利したいと「野党統一候補の実現をめざす大阪アピール」呼びかけ人らが開きました。評論家の佐高信氏が講演。共産、民進、社民、自由の4野党代表が野党共闘をさらに前進させ、総選挙勝利、安倍政権打倒のため全力をつくすと表明しました。辰巳孝太郎参院議員が参加しました。

## こくた国対委員長 20年「裏取引から筋の通る国対に」

こくた恵二党国対委員長の20年を祝うつどい(7月30日)は与野党の重鎮が参加し、大きな反響を呼びました。「日刊スポーツ」の「政界地獄耳」(31日付)は「明朗会計政治家パーティーの理想像」という見出しで次のように報じました。「25年前の国対は55年体制の中、金が飛び交うところだった。その後の近代国対を作り上げリードしたのは穀田そのものだった。裏取引を受け付けず、説明のつく筋の通る国対を与党に諭し続けた」

10日(木)

近畿

いっせい宣伝

追い詰めよう！安倍政権

「近畿は一つ」大きく成功を

今月の近畿いっせい宣伝は定例の第2金曜(11日)が休日のため10日(木)に前倒しして実施します。「近畿いっせい宣伝」は「近畿は一つ」で総選挙に勝利するための大事な取り組みです。大激動の情勢を主導的に切り開き、安倍政権を解散・総選挙に追い込むため大きく成功させましょう。

●前回は貴重な取り組み 前回は22.4%の支部が参加し618カ所で取り組まれ、貴重な経験が生まれました。  
□滋賀県湖南地区 従来、十数箇所だったのが22カ所に。「近畿いっせい宣伝は特別に構える必要がある」、「乗降客の多少にかかわらず全車で」と議論。信楽高原鉄道のなど乗降の少ない駅でも実施。勅使駅では二人が8枚配布、一人で行った雲井では7枚、玉桂寺では3枚配布しました。病気でできなかった一駅を除き、予定した駅はすべて実施しました。  
□和歌山県南地区 6月9カ所だったのが7月は20カ所に。人の流れのあるスーパー前、ターミナルでもと取り組みました。

総選挙勝利近畿ブロックニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 24(2017.8.7)